

福山市産業支援者連絡会議 議事要旨

日 時：2026年（令和8年）5月15日（金）10：00～11：00

場 所：福山市役所本庁舎 1階 多目的室

出席団体

福山商工会議所、福山北商工会、福山あしな商工会、神辺町商工会、沼隈内海商工会、一般財団法人備後地域地場産業振興センター、広島県中小企業団体中央会福山支所、株式会社日本政策金融公庫福山支店、株式会社商工組合中央金庫福山支店、福山公共職業安定所、広島県立総合技術研究所東部工業技術センター、広島県商工労働局商工労働総務課東部産業支援担当、福山市経済環境局経済部産業振興課（オブザーバー）
経済産業省中国経済産業局産業部産業振興課

議事内容

■中東情勢に伴う状況について

- ・ 国では、原油等の全体供給量の確保に取り組むとともに、流通段階での目詰まりへの対応を重点的に進めている。
- ・ 市内企業では、シンナー、塗料、潤滑油、包装資材など石油由来製品を中心に、価格上昇や入荷遅延、数量制限などの影響が幅広い業種で発生している。
- ・ 特に製造業や建設業では、納期遅延や工期への影響が懸念されており、多くの事業者が先行調達や調達先の見直しなどで対応している。
- ・ 原材料費や燃料費の上昇に対し、十分な価格転嫁が難しく、中小企業・小規模事業者では収益悪化への懸念が強まっている。また、在庫確保や調達対応などへの取組状況について、事業者間で対応の差も見られる。
- ・ 現時点では、操業停止や雇用への大きな影響は確認されていないものの、事業者の先行き不安は強く、今後の供給状況や価格動向を引き続き注視する必要がある。

■今後の対応

- ・ 引き続き、市内企業への影響把握及び関係機関との情報共有を行う。
- ・ 状況変化に迅速に対応するため、連絡会議を適宜開催し、必要な対応策を検討する。
- ・ 国に対しては、代替調達やサプライチェーンの状況等に関する継続的な情報共有を求める。